

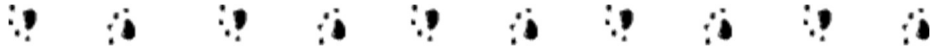
令和3年度 入園説明会について

現在、「新型コロナウイルス」感染拡大防止の為、入園説明会及び3B体操を控えさせていただいております。自粛解除後、幼稚園の環境を整えてから説明会を開きたいと思っております。日程については決まり次第、幼稚園ホームページでご連絡致します。

入園に関する諸費用についてはホームページの「入園のご案内」をご覧ください（令和2年度現在の金額となります）ご不明な点があれば、お電話をいただければと思っております。

以下に、東光の保育の「願い」を書かせていただきました。よろしければご覧ください。

幼稚園の願い



大きくなーれ！ステキな心

お父さん……。お母さん……。

どんなお子さんに育ててほしいと願っていますか？

1. 子どもらしく、明るく、元気な、お子さんになってほしいですか？
2. 自分の考えをしっかりと主張できる、お子さんになってほしいですか？
3. いろいろなことに興味や関心をもつ、お子さんになってほしいですか？
4. いいこととわるいことの判断がつく、お子さんになってほしいですか？
5. おともだちがたくさんいる、お子さんになってほしいですか？
6. 自分の気持ちをコントロールできる、お子さんになってほしいですか？
7. おともだちの心の痛みをわかってあげられる、お子さんになってほしいですか？
8. 努力する前向きな気持ちをもった、お子さんに育ててほしいですか？
9. 学習意欲のある、お子さんに育ててほしいですか？
10. 知識のある、お子さんに育ててほしいですか？

わたしたちおとなが、子どもたちに願うことは、みな同じだと思います。でも、少し違うのは、この順番です。ややもすると、一番最後の10番から、願ってしまうことはありませんか？

それは、ここにあげた1から9までの”ねがい”は、目にみえないものだからです。

心の成長はテストの結果のように、すぐに点数がでるわけではなく、そして、間違っていたらすぐに、正しい答えを教えてくれるものではないからです。

ですから、どうしても目に見えるものに願いをかけてしまうのではないのでしょうか。

でもちがうのだと思います。目にみえないものだからこそ順番を間違ってしまうと、アンバランスな”ころ”のちぬしになってしまうのです。

東光幼稚園では、この見えないところが”人間の土台”であると考えています。みえないところに、たくさんの人間性の要素が詰まっているのです。

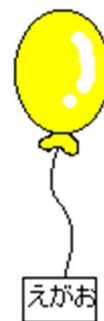
木はみえない地面にたくさんの根をはわせ、根くずれをしないように根を太くさせる。そして、その木は太い幹をもち、たくさんの枝をふやし、やがてステキな花を咲かせる。

これと同じことが、幼児教育にもいえます。ですから東光幼稚園は、育てる順番を間違えないように、1番からスタートします。そして、毎日子どもたちと過ごす時間を大切にしながら、卒園の時までに、10番につながるように心を育てていきたいと考えています。

それには、やはり、先生のかかわりが大切です。それでは先生たちはどのような気持ちで子どもたちと過ごしているのでしょうか。

先生たちは・・・

- ・明るく、元気、そしてニッコリ笑顔で、子どもたちと遊びます。
- ・一人ひとりの” ころの思い” をわかってあげられるように、努力します。
- ・一人ひとりのいいところを見つけ、長所を伸ばしてあげたいと思っています。
- ・一人ひとりの課題を前向きに考え、一緒になやみながら、ともに乗り越えて行けたら、いいなと思っています。
- ・お父さんお母さんと同じように、たくさんの愛情を注いであげたいと思っています。



おおきくなーれ！丈夫な「からだ」

お父さん・・・。お母さん・・・。

子どもっていつも走っていませんか？子どもっていつも動いていませんか？幼稚園でもそうです。子どもっていつも走り、いつも動き、そして、いつも遊んでいます。でも、おとなのように、「走ろう」とか「遊ばなくては」と思って走ったり、遊んでいるわけではありません。自然にからだ動き、遊んでいるのです。それは、この幼児期に「たくさん遊びなさい。たくさん動きなさい」と脳が命令をしているのです。それを大切にすることで「手の力」「腕の力」「足の力」、そして「反射神経」など、からだの運動機能がバランスよく育つのです。そして、たくさん動けばおなかもすく、そうすれば食欲がでる。お腹がいっぱいになれば、眠たくなり、夜も早く眠る。これが「丈夫なからだ」をつくる一番の” 育てかた” なのです。

東光幼稚園では、「動くこと」「遊ぶこと」が「幼児期の仕事」と考えて、保育をしています。東光幼稚園の保育は「生涯生きるため」の力を育てていきます。

お父さん、お母さんと一緒に、きめ細やかに！

「豊かなころと丈夫なからだ」を育てるには、わたしたちが子どもの奥にある「ころ」をみてあげることです。子どもは、なにかあると必ず、おとなに「信号」を送るものです。「今、なやんでいるの」「ねえ、ねえ、わたしをみて！」と訴えてくれます。きめ細かさとは、そんな「ころ」の信号に気づいてあげられることだと思えます。でも、幼稚園でどんなに一所けんめい、救ってあげても、お父さん、お母さんの「愛」でなくては、だめなときがあるのです。

幼稚園での「ころ」の表情。家庭での「ころ」の表情。子どもの心をいろいろな角度からみつめ、よりよく「ころ」が伸びていくように、お父さん、お母さんと話しあったり、お子さんのようすをお伝えしたり、家庭と幼稚園が一体となった、「きめ細かい」保育をしていきたいことも、東光幼稚園の願いです。

